

。然し、協調會の長い歴史に對する労働運動者側の反
感が甚だしくして、このまゝ事業を繼續して行くことは
適當でないと思はれるから、この際協調會を解散して
別に名稱と機構と全く新しい労働問題研究のための學
徒の團體を構成し、これに協調會の資産を奉讓せられ
やうにされることを希望する。尤も現在の協調會の事
業がなかなかよい止りかあるから、これは新團體を採
り上げてやるかよいし、又熟練せる職員は居るから、
それは續いて勤めるやうにするかよいと考へる。
斯やうな計畫は實は昨年九月以來既に九個月も違
てゐるわけがあるから、成るべく早くその實現のため
に諸君の努力を期待する次第である。し

このコトエニ氏との會談に於て謂はし協調會解消の態
勢を受けたのであつたか、これよりさや協調主義にそは
新たなる民主々義社會に於て初めは之の活動のための社
會的基礎を得たといつて得るのがあるとして、民主々義
革命に即應して、協調主義の新たなる發展を圖ると共に
協調運動への熱烈な情熱を捧げてきたのであつた。然
し、社會的動亂に續く社會的急進化、殊に労働運動の急
進化は協調會の革新を要請する、情勢となつた。
斯くて、本會幹部は協調會の解散を決意し、その旨を
傳へるために再か六月六日前記のコーエニ氏と會談した
。會談に際して添田會長は、黄意は了ぬたが、解散の
形式によれば、之れが準備、全國評議員の招募、政府の